

平成 18 年度第 2 回 理事会・総会報告

1. 理事会報告

日時：2006 年 10 月 16 日午後 6 時 30 分～

場所：日本大学文理学部・百周年記念館

参加者：全理事 59 名中 55 名参加（出席者 33 名，委任状 22 名）

初めに，村山会長から挨拶

（1）報告事項

GIS 学会会員増減（個人 1616 名（38 名増），賛助 107 法人（4 法人減）の報告， IT 理事会決定事項， GIS 学会賞候補者， GIS 技術資格局活動（学会連携状況，教育主催者認定状況，GIS 専門技術者認定状況，本大会でのパネルディスカッション，パンフレット） 各委員会活動（とくに，涉外委員会では学術会議の動向も報告，広報委員会からホームページ管理体制の報告）， SIG 活動， 地方事務局活動， 日本地球惑星連合 2007 年大会（GIS セッションがレギュラーセッションとして設置）， GIS 学会のプライバシーポリシー， 大会時入会の取扱いについて

（2）議題

総会の次第（福井事務局長より）， 来年度大会（山村理事より北海道大学での開催案内）， 再来年度大会（柴崎副会長より東京大学での開催案内）， 科研費「研究成果公開促進費」申請（村山会長より国際シンポ開催費として申請） 地理空間情報活用推進基本計画への提言委員会設置（柴崎副会長より）， GIS 用語辞典の改正と研究利用（柴崎副会長より wiki などの仕組みを利用した改定について）， Peer-Review Dataset の可能性検討， GIS 専門家協会準備会設置（今井理事より）， 次回ニュースレター発行（落合理事より）の議題について，全て承認された

質疑・意見

大会開催について，開催会場の条件について，ハードルを高くすると開催校が出なくなるので，条件はゆるめに設定して欲しい

用語辞典の改定には，これまで行なってきたメンバーを積極的参加して頂く必要がある

GIS 専門家協会は民間企業と競合しないようにして欲しい

以上

2. 総会報告

日時：2006 年 10 月 18 日

場所：日本大学文理学部・百周年記念館

（1）報告

次期開催校挨拶（山村理事より，2007 年 10 月 20 日（土）～21 日（日）北海道大学・学術交流会館で開催予定）

(2) 議事

平成 20 年度以降の大会開催校について

学会賞授与（受賞は別項参照）

質疑

特になし

以上